

# 令和4年度事業報告

## (1) 概要

新型コロナウイルス感染症の終息は期待できず、5月には感染症法の分類上第2類からインフルエンザ並みの第5類に引き下げられます。今後も高齢者や持病がある人は、ワクチン接種とマスクの着用・手洗い・うがい・換気等の感染予防対策を講じる必要があります。

さて、令和5年10月からインボイス（適格請求書）制度が導入され、シルバー人材センターは新たな消費税の負担が増えます。各センターでは事務费率のアップや積立金を取り崩す等の対応を行うようですが、当センターは令和4年度に事務費を10%から15%に改定するとともに、令和5年度からは会員の配分金に含まれる交通費にも15%の事務費を発注者にいただき、経営の改善を図ります。

また、フリーランス保護新法が令和5年1月の国会に提出され、この法律が施行されると、会員とセンターとの間で就業内容や報酬を文書化することが義務付けられます。これに伴い見積金額と請求金額が同額となるような契約を発注者と結ぶ必要が生じます。

このため、本年2月に安芸高田市シルバー人材センターと東広島市シルバー人材センターを訪問、契約方法について調査しました。引き続きフリーランス保護新法に備え契約方法の見直しを図ります。

当センターの令和4年度事業実績は、昨年同様に新型コロナウイルスの影響もあり、受託件数及び契約金額とも前年度を下回る結果となりました。

会員数につきましては退会者が入会者を上回ったため、残念ながら871人の目標には遠く及びませんでした。

安全就業につきましては、令和3年から草刈作業時におけるヘルメットの着用を義務化しました。会員の皆様に安全確保のためヘルメットの着用をお願いし、安全パトロールを通して剪定作業や草刈・伐採作業などに従事される会員への注意喚起を図りました。

また、「安全標語」や「ヒヤリハット体験事例」の募集を例年どおり行い、安全意識の啓発に取り組んだところであります。

事故の発生状況については、傷害事故が9件、物損事故が9件、合計18件の事故が発生しました。前年度より事故件数が増えておりこの対策として、令和5年度からペナルティ金額の増額を行うことといたしました。

今後とも機会をとらえては、安全就業と交通事故防止の啓発に取り組んでまいりたいと考えています。

また、三原市からの提案で国庫補助事業として「空き家管理事業」に着手しました。これは、当センターの新たな業務として、空き家の外観目視点検と風通しを行うものです。事業の実施にあたり安芸高田市シルバー人材センターを訪問し、実施状況を調査しました。未だ受注はありませんが、今後も空き家は増えると思われるのでニーズはあると考えています。

近年、人生100年時代を見据え、働く意欲のある高齢者がこれまで培ってき

た能力や経験を活かし、年齢にかかわらず活躍し続けることができる「生涯現役社会」を実現することが求められております。国は70才までの雇用促進政策を進めており、シルバー人材センターは70歳以降の高齢者で担わざるをえない状況となりつつあります。

シルバー事業の運営については、企業の再雇用制度や定年の延長による入会会員の減少と会員の高齢化から、引き続き苦しくなることが予想されます。

以下、令和4年度において実施した事業活動、実績の概要を報告します。

### ① 就業実績（請負）

区分	令和3年度	令和4年度	増減額	対前年比
受託件数	7,797件	7,534件	△263件	96.6%
契約金額	312,882,095円	299,405,788	△13,476,307円	95.7%
就業延人員	58,012人日	54,084人日	△3,928人日	93.2%
就業率	77.7%	79.0%	1.3ポイント	-

受託件数と契約金額とも、契約金額は年々減少しています。

### ② 会員確保の推進

会員確保につきましては、三原本部では毎月第3木曜日に入会説明会を開催し、各支所においては随時入会説明を実施して、会員の確保に努めたところがあります。また、新しい試みとして市広報誌4月号に入会説明会の日程を掲載しました。また例年どおり、会報「シルバーみはら」、広告掲載、ホームページ、新聞チラシ等により、広く広報に努めたところですが、令和4年度末の会員数は791人（三原本部580人、本郷支所85人、久井支所61人、大和支所65人：男性536人、女性255人）で、年度内の入会者86人、退会者116人で、前年度末より30人の減となり、当センター目標値871人には遠く及びませんでした。

### ③ 就業機会の確保と適正就業の推進

新規就業先確保のため市内の老人施設の宿直業務について、施設側と就業内容を詰め令和4年度から契約を結び4名の会員が交代で就業しています。また、同法人の別の老人施設の宿直業務についても依頼があり、就業会員を確保し令和5年度から受託する予定です。

また、測量業務の補助について請負から派遣契約に変更しました。

就業の適正化については、受託中の施設管理の内13施設で5年を超える長期就業者22名について就業を終了し、未就業会員142名に公募し、結果38名の応募がありました。

適正就業委員会で未就業期間や地域性を考慮しながら、また、応募がなかった施設には2次募集を行うなどし、交代会員を配置しました。

### ④ 安全就業の徹底と推進

安全就業対策委員会において「安全対策基本方針」を樹立し、「安全就業対策推進計画」を策定し、草刈作業や剪定作業を中心に安全パトロールを実施して事故防止に努めるとともに、熱中症の予防にも力を注ぎ注意の喚起のため6月

～9月の間「熱中症対策取組強化月間」を設けました。

また、合同研修会を9月28日に中央公民館で開催し、安全標語の優秀者を表彰しました。

事故の発生状況については、前年度に比べ傷害事故は4件・物損事故は2件増えました。傷害事故の内3件はハチに刺されたものでした。物損事故の多くは、作業前の安全対策の不備で、就業に当たっては就業場所をよく観察する必要があります。令和4年度も安全確保に十分注意し、安全標語やヒヤリハットの募集を行って安全意識の向上に努めたところであります。会員一人ひとりが再度「安全はすべてに優先する」を自覚することが重要で、事故撲滅を目指しセンターと会員が一体となって安全就業に取り組んでまいりました。

#### ⑤ 公益社団法人として対応

全国シルバー人材センター事業協会の指摘で請負契約において契約書がない事例があり、令和4年度の契約に当たり契約書の作成に努めました。

今後も関係法令を遵守した運営と、公正で透明性のある事業運営に努め、地域社会から信頼され愛されるセンターを目指してまいりました。

#### ⑥ 広報活動の充実

シルバー事業について市民に理解してもらうため、また事業内容のPRを兼ねて、次の活動に取り組みました。

- ・「躍進三原ニュース」へ広告掲載
- ・会報「シルバーみはら」（第88号、第89号）の発行
- ・三原市の広報誌に入会説明会の日程を掲載
- ・市ホームページへバナー広告掲載

⑦ 有料職業紹介事業 1件

⑧ 就業相談の実施（毎月1回 第3木曜日） 2件

#### ⑨ シルバー派遣事業の促進

派遣事業実績

区分	令和3年度	令和4年度	増減額	対前年比
受託件数	283件	326件	43件	115.2%
派遣実績額	59,490,612円	63,747,001円	4,256,389円	107.2%
就業延人員	9,870人日	10,449人日	579人日	105.9%

#### ⑩ 研修会・講習会の開催

全国シルバー人材センター事業協会の各種研修が開催されましたが、新型コロナウイルスの感染予防のためオンラインでの受講が中心となりました。

中国ブロック役職員研修が10月31日及び11月1日に岡山市で開催され、請負契約に係る総額見積方式について先進地の事例を学びました。

#### ⑪ 生活援助・子育て支援事業の拡充

会員募集と当センターの広報のため、シルバーフェアを1月下旬に三原市民大学祭にあわせて中央公民館で開催していましたが、新型コロナウイルス感染症の予防のためシルバーフェアは開催しませんでした。

#### ⑫ 独自事業の強化

独自事業は現在、本郷支所会員の「衣服等のソーイング」のみの小規模での就業になっています。植木剪定枝葉チップ化事業の国庫補助金は平成24年度に、三原市補助金が平成27年度に打ち切られ、また、収支の改善が見込まれず、チップ事業所は伐採木等の大きな木の一時置場として利用しております。

#### ⑬ 財政基盤の整備

経常収支の健全化のため、令和4年度から事務費率を10%から15%にアップした結果、収支は改善され119,247円の黒字となりました。

また、引き続き自主財源の確保に努める必要があり、受託件数及び契約金額の減少が続く中、国や三原市の補助金に依存する割合は大きく、8月に岡田三原市長・陶三原市議会議長に対し、当センターの支援について要請書を提出いたしました。

#### ⑭ ボランティア活動の推進

シルバー事業について、市民の理解と認識を深めていただくため、10月15日(土)に本部・支所周辺の清掃活動を行い合計で83人の会員が参加しました。

#### ⑮ 本部・久井支所の移転

本部は、旧ゆめきやりあセンター2階(約135m<sup>2</sup>)への移転が決まりました。今後は令和7年度の移転向け、事務室のレイアウトの作成等準備を進めてまいります。

また、久井支所の移転については、令和4年3月に三原市久井老人福祉センターが機能廃止になりましたが、本年3月まで業務を行いました。

現在、移転先が決まらないため当センター大和支所で業務を行っています。

なお、移転先として三原市に旧久井小学校体育館内の事務スペースの使用を要望しています。

#### ⑯ 組織体制の充実・強化

全国シルバー人材センター事業協会や広島県シルバー人材センター連合会の主催する研修会に積極的に参加し、問題意識を高めるとともに、組織体制の充実や強化に努めてまいりました。